

市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

【案件名】市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画一部改定版（素案）

部課等名：生活環境部資源循環推進課

No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>○処理困難物の適正処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主要な施策3-1 安定的なごみ処理体制の整備（4）処理困難物の適正処理に向けた調査・検討」において、「収集運搬の方法や処分の方法を調査・検討していきます」としており、令和7年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画においては、第4章（5）で処理困難物については「専門業者に依頼する」としている。 ・以前、市（資源循環推進課）に廃灯油や廃融雪剤の処理を照会したところ、「販売店で引き取り」との回答があったものの引き取る販売店が見つからず、苦慮した経験がある。 ・「処理困難物の適正処理」を処理計画の主要施策の一つとして掲げるのであれば、市民が処理に困っている廃棄物の実態を調査し解決の道筋を真摯に検討すべきであり、その経緯等を年度ごとの「処理実施計画」に記載するなどして市民に示すべきと考える。 	<p>実施計画では、市町村の施設や設備では適切に処理することが難しい廃棄物を「処理困難物」と位置付け、その処理は、販売者や専門業者に依頼することと定めています。</p> <p>現在、社会経済の変化や技術の進化により、製品は複雑化・多様化しており、廃棄時に処理が困難なものが増加しています。近年、処理困難物とされていたリチウムイオン電池などについては、収集や拠点回収の体制を整備しました。</p> <p>今後も処理困難物については、適切な処理体制の調査・検討を進めていきます。</p>
2	<p>アルミ屑から水素を作る技術があることをネット動画を見て知りました。その動画によると富山県のベンチャー企業が開発し既に事業化されています。私を含め多くのいわき市民は、何気なく燃えるゴミとして出しているヤクルトの蓋、チーズの包み紙、杏仁豆腐の蓋、豆乳パックの内側、その材質はリユース可能なアルミだったのです。</p> <p>下の写真は、ある程度集まったらそのベンチャー企業に送ってみようと思い興味本意で数年前から集めたものです。先日、何気なく見ていた広報いわきのパブリックコメント募集の記事を見て思いました。いわき市民にも出来ることがある。家庭ゴミに関心の高いいわき市の行政なら、来たる水素社会に向け廃アルミを家庭ゴミとして分別回収する流れを作ってくれるのではないかと、廃アルミで水素バスがいわき市内を走る日が来たら嬉しいと思ってくれる人も少なからずいるはずだと感じたのです。</p> <p>稚拙な考えではありますが、素人市民の妄想を送らせていただきます。将来的に分別が進み水素製造装置が導入されたら嬉しいですね。</p>	<p>基本計画では、埋立処理や焼却処理による環境負荷をできる限り低減し、ごみを資源として適切に循環利用できるよう、環境産業との連携を図りながらリサイクル処理を推進することを目指しています。</p> <p>そのため、焼却ごみ減量に向けたリサイクル処理の推進などの取組みを重点プロジェクトとして位置付けています。</p> <p>いただいたリサイクル処理に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

3	<p>年末年始、可燃ゴミだけでも通常通り週2回のゴミ回収をして頂きたいです。</p> <p>なぜなら、ご近所地域のゴミの量が倍以上になり集積所にあるゴミステーションに収まりきらず溢れかえり、カラス被害に合い困っているからです。</p> <p>又、容器包装プラスチックと古紙類の回収日を同じ日にちに行うことを止めて頂きたいです。</p> <p>なぜならダンボール等が大きい為、ゴミステーションに入りきらず溢れたゴミがカラス被害に合うからです。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>	<p>ごみ収集日は、従事者の労働環境や処理施設の受け入れ体制、それらに伴う経費、市民生活への影響などを総合的に考慮した上で決定しておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>また、集積所は、利用される皆様で管理していただくこととなっています。そのため、カラスによる被害や、大きなゴミが入りきらないなどの問題については、利用者間でルールを定めるなどの対策をお願いしています。</p> <p>なお、いただいた収集日に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
---	---	---